

離乳食のコツ理解

子育てスクール開講

大船渡

大船渡市のNPO法人・こそだてシッブ(伊藤怜子理事長)による「子育てスクール」は5日、同市盛町

のカメリアホールで開業を展覧している同法

乳食(補完食)のあり方や食材の選び方、注意事項などに理解を深めた。

気仙で子育て支援事

人。同スクールは「赤ちゃんをもつお母さんたちに子育てに役立つ知識や情報を提供しよう」と企画した。

この日は気仙両市の乳児と保護者ら20人余りが受講。震災後に設立されたこそだてシッブの支援、指導に当たっている東京都助産師会副会長で、同都中野区の助産院院長の宗祥

ろ。生後5、6カ月になつたからといって焦らないで。全員でご飯を食べるときに赤ちゃんにも食べさせて、食べる楽しさや意欲をかき立てるよう心がけてほしい」とアドバイス。

は安全で、健康にもいい国産にこだわってほしい。そして和食をメインに。糖分や油分も摂取させないよう気を配ってほしい」と注意を促した。

その後は産後サポート「ドゥーラ」を紹介。ドゥーラ協会の代表理事も務める宗さんは母親の産前産後ケアを行う同サポートの役割や意義を伝えた。

同スクールは今後、随時開催される予定。

区副会長で、同都中野区の助産院院長の宗祥子さんが講師を務め、▽離乳食▽産後サポート「ドゥーラ」の2部構成で講話を行った。

はじめに宗さんは「離乳食を始める時期は成長のスピードが違

宗さんの講話に耳を傾け、離乳食を与える際の注意事項などに理解を深めた参加者ら



カメリアホール